

年度	学期	授業回	講師	ご登壇日	所属	テーマ	備考
2025年度	後期	15	大熊由紀子	2025.12.17	担当教授	～想像力と度胸と～ゲストの先生方からの学び	
2025年度	後期	14	依田晶男	2025.12.10	医療機関の障害者雇用ネットワーク・代表世話人	障害者雇用に魅せられて ～人を生かし、共に成長する～	
2025年度	後期	13	神谷潤子	2025.12.3	新型コロナワクチン後遺症患者の会	コロナワクチン薬害が浮き彫りにした日本社会の構造 Mちゃんのお母様からのお手紙	
2025年度	後期	13	木村瑞穂	2025.12.3	新型コロナワクチン後遺症患者の会代表・発起人	コロナワクチン薬害が浮き彫りにした日本社会の構造 Mちゃんのお母様からのお手紙	
2025年度	後期	12	今川竜二	2025.11.26	東大阪生協病院 総合診療医	聴覚障害のある総合医として/デフラグビーの選手として	
2025年度	後期	11	飯野順子	2025.11.19	重度所者・障害学習ネットワーク代表	生きることは学ぶこと・学ぶことは生きる喜び～学び続ける喜びを訪問カレッジで～	
2025年度	後期	10	矢野康治	2025.11.12	元財務省事務次官 国際医療福祉大学社会保険政策研究所長	わが国の財政について～不都合な真実を正視し、打開する～	
2025年度	後期	9	大熊由紀子	2025.11.5	担当教授	言葉は魔術 本質見抜き社会を変える 北海道新聞	
2025年度	後期	8	南須原康行	2025.10.29	北海道大学付属病院院長	医療安全担当から病院長になって	
2025年度	後期	7	石川准	2025.10.22	静岡県立大学名誉教授 障害学会理事長	国連障害者権利委員会委員として、内閣府障害政策委員会委員長として見えた日本	
2025年度	後期	6	守田 稔	2025.10.15	視覚障害をもつ医療従事者の会(ゆいまーる)代表	できるところからこつこつと～そこに立ち塞がった壁～	
2025年度	後期	5	木原育子	2025.10.8	東京新聞特別報道部記者 社会福祉士、精神保健福祉士	新聞記者がソーシャルワーカーになって～福祉の「繭」を打ち破って見たら～	
2025年度	後期	4	千葉忠夫	2025.10.1	バンクミケルセン財団理事長	幸せな国・社会福祉国家デンマーク～対話と選挙と民主主義と～	
2025年度	後期	3	鹿島真人	2025.9.25	マリッジフォーオールジャパン事務局次長	同性婚がひらく日本の未来結婚の自由をすべての人に	
2025年度	後期	2	原祐一	2025.9.17	福岡県医師会常任理事 元日本医師会総合政策研究機構 副所長	日本の医療・世界の医療～精神医療とDXから考える～	
2025年度	後期	1	大熊由紀子	2025.9.10	担当教授	言葉をつくり・言葉を退治して、社会を変えようという試み	
2025年度	前期	15	大熊由紀子	2025.7.24	担当教授	つないで変える試みの始まりは。。	
2025年度	前期	14	松村和彦	2025.7.17	京都新聞社 写真記者 World Press Photo 2024 オープンフォーマット部門アジア地域優勝者	写真記者の僕が認知症を見つめ続けて気づいた光	
2025年度	前期	13	高岡滋	2025.7.10	神経内科リハビリテーション協立クリニック院長	水俣病にみる、正しい医学情報の構築と医学界の不作為の歴史	
2025年度	前期	12	遠藤 祐太郎	2025.7.3	『デンマークの子どもたちからもらったステキな時間』著者	デンマークの保育 日本の保育を経験して	
2025年度	前期	11	伊原和人	2025.6.26	厚生労働事務次官	20代、訪問入浴車の運転手をして考えた 「秋の夜長の夢物語・介護保険創設」、そして、いま	
2025年度	前期	10	前村聡	2025.6.19	日本経済新聞社編集局 医療面編集長	人をつなぎ、データをつなぎ、「医療を動かす」	
2025年度	前期	9	高端正幸	2025.6.12	埼玉大学 人文社会科学部研究科教授	財政と社会保障 分かち合い、支え合うための条件とは	
2025年度	前期	8	コラアゲンは	2025.6.5	笑数派	体験ルポ芸人が見た!!!!!!福祉・医療の世界	
2025年度	前期	7	高木俊介	2025.5.29	精神科医 京都・一乗寺ブリュワリー代表 オープンダイアログネット共同代表	コロナ禍の5年間を通してみた精神医療と現代社会	
2025年度	前期	6	小野アンリ	2025.5.22	Proud Futures 共同代表・プライドハウス東京 共同代表	性の多様性～LGBTQ+の子どもたち、若者との関わりを通して～	
2025年度	前期	5	中島久美子	2025.5.15	読売新聞医療部次長	臓器移植の前に立ちふさがった新たな課題～新聞の総合力で切り開いたこと～	
2025年度	前期	番外編	河原理子	2025.5.8	東京大学大学院・情報学環 特任教授	特別企画・インタビューの作法と極意	
2025年度	前期	4	秋山正子	2025.5.1	白十字訪問看護ステーション統括所長	自宅での看取りのパイオニア そしていま、全国に広がる暮らしの保健室	

2025年度	前期	3	小浦詩	2025.4.25	NPOじっくらあと・理事長	能登半島地震から1年余りたって 小児科医と在宅医と10代の若者たちが始めたこと	
2025年度	前期	2	山中光茂	2025.4.17	しろひげ診療所院長	江戸川しろひげモデルへの挑戦～看取りまで地域全体でサポートするシステム～	
2025年度	前期	1	大熊由紀子	2025.4.10	担当教授	「協働創造」～ニセモノ・ホンモノ～	
2024年度	後期	15	大熊由紀子	2024.12.18	担当教授	聴講のみなさんの「礼状風レポート」から見えてきた「垣根の見破り方、壊し方、飛び越え方」、そして、空前絶後の「縁結び」	
2024年度	後期	14	田中 志子	2024.12.11	大誠会 内田病院 理事長/日本リハビリテーション病院・施設協会常務理事	垣根はみんなで超えるもの	
2024年度	後期	13	山極 寿一	2024.12.23	京都大学 元総長・人間文化研究機構総合地球環境学研究所 所長	人生で大切なことは、すべてゴリラからおそわった	
2024年度	後期	12	六車 由実	2024.11.27	デイサービスすまいるほーむ 管理者	驚きの介護民俗学～それでも私は介護の仕事を続けていく～	
2024年度	後期	11	恩蔵 絢子	2024.11.20	脳科学者・東京大学大学院特任研究員	介護は命懸けで親がしてくれた教えだった～認知症介護のリアル～	
2024年度	後期	11	信友 直子	2024.11.20	映画監督	介護は命懸けで親がしてくれた教えだった～認知症介護のリアル～	
2024年度	後期	10	安發 明子	2024.11.13	日本学術振興会特別研究員・パリ市ソーシャルワーカー養成校AFRIS 顧問	ひとりひとりに届ける福祉が支える～フランスの子どもの育ちと家族～	
2024年度	後期	9	高浜 敏之	2024.11.6	株式会社土屋 代表取締役	「重度訪問介護」をビジネスに～異端の福祉といわれて～	
2024年度	後期	8	福島 智	2024.10.30	東京大学先端技術センター 教授	聴覚障害と視覚障害をあわせもって～見えること、できること～	
2024年度	後期	7	坂野 悠己	2024.10.23	社会福祉法人愛隣会 総合ケアセンター駒場 施設長	下剤ゼロ、機械浴ゼロ、寝かせきりゼロ、拘束ゼロ～7つのゼロに挑戦して～	
2024年度	後期	6	中山 健夫	2024.10.16	京都大学医学部・健康情報学 教授	EBM・NBM・IT、そして、SDM～患者「と」、医療者「で」、医療を変える～	
2024年度	後期	5	熊田 貴之	2024.10.9	医療法人ディープインテンション 日吉心療所理事長	都会で精神科病院をなくし、1年経って ～PSW、薬剤師の副院長とともに～	
2024年度	後期	4	藤島 一郎	2024.10.2	浜松市リハビリテーション病院 特別顧問	植物学⇒脳神経外科医⇒リハビリテーション専門医 ～転身の中で、つかみとったこと～	
2024年度	後期	3	岡本 響子	2024.9.25	kokko 奈良クライシスセンター 代表理事	日本にもクライシスセンターを～フィンランドからの報告～	
2024年度	後期	2	熊谷 崇	2024.9.18	日吉歯科診療所 理事長	人生100年時代に向けて～8020からKEEP28へ～	
2024年度	後期	1	大熊由紀子	2024.9.11	担当教授	垣根を超え挑戦するということ	
2024年度	前期	15	大熊由紀子	2024.7.18	担当教授	ゲスト講師に共通していたことを聴講生のレポートから読み解く	
2024年度	前期	14	間 隆一郎	2024.7.11	厚生労働省老健局長	変革の時代の政策～受動喫煙防止法、自立支援法、そして、いま介護保険～	
2024年度	前期	13	塩崎 恭久	2024.7.4	元内閣官房長官・元厚生労働大臣	大臣が官僚と闘って獲得した「こどもの権利」	
2024年度	前期	12	惣万 佳代子	2024.6.27	NPO法人デイサービス「このゆびとーまれ」理事長	初め法律違反、いま、国の政策の「共生ケア」～そして、ナイチンゲール記章～	
2024年度	前期	12	西村 和美	2024.6.27	NPO法人デイサービス「このゆびとーまれ」副理事長	初め法律違反、いま、国の政策の「共生ケア」～そして、ナイチンゲール記章～	
2024年度	前期	11	田端 美華	2024.6.20	熊本日々新聞 局次長 論説委員	医学ジャーナリスト協会大賞を受賞した「ゆりかご15年」～1記者として、部長として、そしていま～	
2024年度	前期	10	宮岡 等	2024.6.13	北里大学 名誉教授	医療と商売のはざまー医師と製薬メーカーの利益相反とDisease mongeringーそして、心療内科医・精神科医の選び方	
2024年度	前期	9	高橋卓志	2024.6.6	2019・4・18の公開講義で「月の光」バックに朗々と読経なされた神宮寺前住	死路に一条の活路を～末期がんと生きる	
2024年度	前期	8	長野 敏宏	2024.5.30	愛媛・御荘診療所長	街から精神科病院をなくして、アボガドの森と宿に～入院していた人々は、いま～	
2024年度	前期	7	相原 啓介	2024.5.23	高幡門前法律事務所 弁護士	ブラックボックス・滝山病院からの救出～PSW(精神保健福祉士)から弁護士に変身して～	
2024年度	前期	6	植田 耕一郎	2024.5.16	日本大学 歯学部 摂食機能療法学講座 特任教授	おいしく、楽しく、美しく、摂食機能の実力～削って詰める歯科医療から、生きる質を求め、看取りの医療へ～	

2024年度	前期	5	星川安之	2024.5.9	公益財団法人共用品推進機構 専務理事兼事務局長	おもちゃメーカーから生れた共用品思想～世界へ、そして、まちづくり、産業の世界へ～	
2024年度	前期	4	小島 ブンゴー	2024.5.2	ユーロジャパンコミュニケーション代表	デンマークにみる普段着のデモクラシー～デンマークに半世紀暮らして見えてきたこと～	
2024年度	前期	3	中迎 聡子	2024.4.25	「いろ葉」代表	介護と医療の究極のコラボ～生活と人生を本気で支える限界風景～	
2024年度	前期	3	森田 洋之	2024.4.25	南日本ヘルスリサーチラボ 代表	介護と医療の究極のコラボ～生活と人生を本気で支える限界風景～	介護と医療の究極のコラボ
2024年度	前期	2	山本 尚子	2024.4.18	国際医療福祉大学大学院 教授	官の立場からの公衆衛生活動 ローカルからグローバルへ 佐世保市役所から世界の医療へ	
2024年度	前期	1	大熊由紀子	2024.4.11	担当教授	医療の世界のパラダイム転換 インフォームド・コンセントをめぐって	
2023年度	後期	15	大熊由紀子	2023.12.20	担当教授	なぜ、「誇り・味方・居場所」？アカデミズムとジャーナリズム	
2023年度	後期	14	奈良 里紗	2023.12.13	視覚障がい者らいふサポート機構 理事長	「ごめんね」から「ありがとう」～当事者研究者だからこそ見えた3つの見えない差別～	
2023年度	後期	13	北山ユリ	2023.12.6	医学分野の国際学会の同時通訳の第一人者	前例を超え・前例を創った経験、そして、真に患者の立場にたつということ。	
2023年度	後期	13	美馬達夫	2023.12.6	脳神経外科医・国際医療福祉大学臨床医学研究センター・元教授	前例を超え・前例を創った経験、そして、真に患者の立場にたつということ。	
2023年度	後期	12	早瀬 久美	2023.11.29	昭和大学病院 聴覚障害外来	薬剤師国家試験に合格したのに門前払い そして、いま、デフリンピックにも挑戦	
2023年度	後期	12	山口 千春	2023.11.29	千葉聴覚障害者センター 総括マネージャー	薬剤師国家試験に合格したのに門前払い そして、いま、デフリンピックにも挑戦	
2023年度	後期	11	福場 将太	2023.11.22	風のすずらん会美咲すずらんクリニック 副院長 視覚障害をもつ医療従事者の会 ゆいまる 幹事	ぼくだからできること～美咲・精神科医の日々	
2023年度	後期	10	玉川 敏彦	2023.11.15	日本車椅子バスケット連盟前会長	21歳、事故で「一生歩けない」と診断されたのにパラリンピック選手を育て上げた今	
2023年度	後期	9	高橋夏子	2023.11.8	映像ディレクター&ガーディナー	飛び入りゲスト2人による多彩な講義	
2023年度	後期	9	市岡武	2023.11.8	サポートセンター沼南のみなさんと“幹事長”	飛び入りゲスト2人による多彩な講義	
2023年度	後期	8	鈴木 げん	2023.11.1	浜松TG(トランスジェンダー)研究会代表	やっぱり俺は「おんな」じゃない～オペなしで！戸籍上も「俺」になりたい裁判～	
2023年度	後期	7	佐藤 (佐久間)	2023.10.25	認定NPO法人健康と病の語りディベックス・ジャパンの事務局長	病いを生きる患者の語りを持つ力～患者の語りから、人々や医療者は何を学ぶのか～	
2023年度	後期	6	加納 佳代子	2023.10.18	医療法人財団緑雲会多摩病院 看護部長	看護師長のときでんかん発症、看護部長のときうつ病に その経験を生かして、教職につき、講談看護師 加納塩梅としても活動	
2023年度	後期	5	広瀬 浩二郎	2023.10.11	国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授 総合研究大学院大学 人類文化研究コース 教授	共生のためのコミュニケーション手法～ユニバーサル・ミュージアムへのいざない～	
2023年度	後期	4	中石 真一路	2023.10.4	聴脳科学総合研究所 所長	「認知症高齢者」それは私だ	
2023年度	後期	3	佐々木 信夫	2023.9.27	日本弁護士連合会 日本身体拘束研究所理事	エリートサラリーマンだった私が、精神病院で1カ月過ごして、恐ろしかったこと	
2023年度	後期	2	小川 道幸	2023.9.20	ピープルファーストジャパン映像作家	私は山田浩、知的障害者 私たちが望んでいるのは、一人の人間として生きることです	
2023年度	後期	2	林 淑美	2023.9.20	ピープルファーストジャパン創思苑理事長	私は山田浩、知的障害者 私たちが望んでいるのは、一人の人間として生きることです	
2023年度	後期	2	福岡 拳	2023.9.20	ピープルファーストジャパン支援者	私は山田浩、知的障害者 私たちが望んでいるのは、一人の人間として生きることです	
2023年度	後期	2	山田 浩	2023.9.20	ピープルファーストジャパン役員	私は山田浩、知的障害者 私たちが望んでいるのは、一人の人間として生きることです	
2023年度	後期	1	大熊由紀子	2023.9.13	担当教授	”Nothing About Us Without Us”思想の原点と広がり	

2023年度	前期	15	大熊由紀子	2023.7.27	担当教授	東京・世田谷から、前例を超える・人をつなぐ	
2023年度	前期	15	中澤まゆみ	2023.7.27	ノンフィクションライター	東京・世田谷から、前例を超える・人をつなぐ	
2023年度	前期	14	白石正明	2023.7.20	医学書院	当事者研究、べてるの家など、数々の逆転の思想を発掘し、つないで大宅壮一ノンフィクション賞、大佛次郎論壇賞など数々の受賞作を生み続けている秘密は？	
2023年度	前期	13	山崎史郎	2023.7.13	内閣官房全世代型社会保障構築本部事務局総括事務局長	2040年、社会保障の旅ー社会保障はどのように作られ、これからどこに向かうのか	2040年、社会保障の旅
2023年度	前期	12	川田龍平	2023.7.6	参議院議員	いまも薬害エイズと闘いながら、「いのちが守られる政治を」と、法律をつくり、社会を変える	
2023年度	前期	11	小笠原文雄	2023.6.29	日本在宅ホスピス協会会長。岐阜大学医学部客員臨床系教授	「独り暮らしでも笑って死ぬる」「なんとめでたいご臨終」と 人をつなぎ、制度を変える	
2023年度	前期	10	埴岡健一	2023.6.22	本学医療福祉ジャーナリズム分野教授	がん対策で、当事者を中心に多様な立場が繋がった	
2023年度	前期	10	前村聡	2023.6.22	日本経済新聞社社会保障エディター	がん対策で、当事者を中心に多様な立場が繋がった	
2023年度	前期	9	藤井克徳	2023.6.15	NPO法人日本障害者協議会代表・きょうされん専務理事	障害分野の種別、立場、考え方の違いを乗り越えて40年余りそして今、国連障害者権利条約勧告が求める社会づくりに向けて	
2024年度	前期	8	大熊由紀子	2023.6.8	本学教授	★「きょうは私たちの話をきいてくれてありがとう」	
2023年度	前期	7	柴本礼	2023.6.1	イラストレーター・東京高次脳機能障害協議会理事	突然倒れ、障害をもつ身になった夫と暮らす日々をコミック「日々コウジ中」に描いて家族をつなぐ、社会をつなぐ	突然倒れ、障害をもつ身になった夫と暮らす日々を
2023年度	前期	6	松村克彦	2023.5.25	世田谷区DX＝デジタル・トランスフォーメーション担当副区長	サイボウズで培ったワザで福祉と行政とITをつなぐ	
2023年度	前期	5	豊田 郁子	2023.5.18	NPO法人・架け橋代表	医療事故に、あってしまった人、起してしまった人 さらに、行政、医療機関をつなぐ	医療事故に、あってしまった人、起してしまった人
2023年度	前期	4	早瀬昇	2023.5.11	大阪ボランティア協会理事長・日本NPOセンター顧問	「ボランティアは採める」という法則をつくったご本人による乗り越えるワザ	
2023年度	前期	3	高橋睦子	2023.4.27	恵泉女学園大学教授	教育と子育て～フィンランドで育まれる つながる文化、つなげる文化	
2023年度	前期	2	西上ありさ	2023.4.20	studio-L東京事務所代表	人がつながるしくみをつくる「見えない」デザイン、「見える」デザイン	
2023年度	前期	2	山崎 亮	2023.4.20	studio-L代表・関西学院大学教授	人がつながるしくみをつくる「見えない」デザイン、「見える」デザイン	
2023年度	前期	1	大熊由紀子	2023.4.13	担当教授	現場を、社会を、変えるために、つないだ人、つながった人たち 日本で、そして、世界で	
2022年度	後期	3	阿部一彦	2022.9.28	日本身体障害者団体連合会会長/東北福祉大学名誉教授/全国ポリオ会連絡会運営委員	障害者権利条約審査であきらかになった日本の障害行政の実態	
2022年度	後期	2	池原毅和	2022.9.21	東京アドヴォカシー法律事務所所長/日弁連人権擁護委員	国連が驚いた日本の精神医療の「強制」と「支配」 廃止のためのロードマップを考える	
2022年度	後期	1	馬籠久美子	2022.9.14	馬籠久美子(通訳・翻訳者) 丹野 智文(ビデオ出演)	「恍惚の人」的認知症観を変えた世界と日本の当事者たち～それを支えた黒子たち	
2022年度	前期	12	片岡豊	2022.7.7	デンマーク社会研究協会理事長	北欧型福祉を半世紀体験して知った税金が戻ってくる国の秘密 幼いときからの教育？選挙の仕組み？それとも？	
2022年度	前期	15	大熊由紀子	2022.7.28	国際医療福祉大学大学院教授	ゲスト講師から学んだこと・実行にうつしたこと	
2022年度	前期	14	村上陽一郎	2022.7.21	東京大学・国際基督教大学名誉教授	科学史と科学哲学からみる医学・医療・福祉	
2022年度	前期	13	高橋幸男	2022.7.14	島根大学臨床教授/エスポアール出雲クリニック院長	“恍惚の人”的認知症観をこえて 認知症を受け入れる文化、そして、暮らしづくり	
2022年度	前期	8	山崎章郎 先生	2022.6.9	認定NPO法人コミュニティケアリング理事長	100万部を超えた『病院で死ぬということ』から30年 変わったこと変わらなかったこと、そして、これからのこと	
2022年度	前期	11	青山浩平	2022.6.30	NHK 制作局 ETV特集班ディレクター	日本社会の構造～「精神科病院」「外国人技能実習生」問題に共通するもの～	
2022年度	前期	10	高橋昭彦	2022.6.23	ひばりクリニック院長/認定特定非営利活動法人うりずん理事長	重い障害や病気のある子どもたちが友だちと楽しく過ごし 子どもと家族が「普通」に暮らすことができる社会を目指して	
2022年度	前期	7	公文和子	2022.6.2	「シロアムの園」の園長・医師	障害の重いケニアの子どもたちが必要な医療や教育を受けられるように差別や偏見から解放されるように	

2022年度	前期	9	大熊由紀子	2022.6.16	国際医療福祉大学大学院教授	『寝たきり老人』のいる国いない国から30年、変わったこと、変わらなかったこと、そして、これからのこと	
2022年度	前期	6	風間直樹	2022.5.26	東洋経済新報社『週刊東洋経済』編集長	精神医療を問う	
2022年度	前期	5	清原稔也	2022.5.19	京都新聞報道部部長代理	ALS患者囁託殺人事件～2人の医師と亡くなった女性 一連の報道で読者に届けたかったメッセージ	
2022年度	前期	4	石川准	2022.5.12	内閣府障害者政策委員会委員長、障害学会会長	見える人は見え、見えない人は見えない	
2022年度	前期	3	矢島鉄也	2022.4.28	日本医療安全調査機構専務理事	厚生省健康局長として子宮頸癌ワクチン勧奨に待ったをかけたわけ 千葉県病院局長として医療事故の検証に踏み切った背景	
2022年度	前期	2	木村利人	2022.4.21	早稲田大学名誉教授・日本生命倫理学会元代表理事・会長	60年前につくった「幸せなら手をたたこ♪」 40年前広めようとした「患者の権利章典」に立ちはだかった壁	
2022年度	前期	1	大熊由紀子	2022.4.14	国際医療福祉大学大学院教授	「3歳までの命」といわれ41歳まで輝いて生きて えびちゃん 39歳で「若年認知症」と診断された丹ちゃんが47歳で書いた4刷りの本 夢を制度にした小山剛さんの「遺言」から考えます	
2022年度	後期	12	関口麻理子	2022.12.7	聴覚障害をもつ医療従事者の会代表	聴覚障害のあるリハビリテーション医だから見えたもの	
2022年度	後期	15	大熊由紀子	2022.12.28	国際医療福祉大学大学院教授	社会を変えたゲスト講師に共通するもの	
2022年度	後期	14	小田政利	2022.12.21	呼ネット元代表/おだやか福祉会(一般社団法人)代表理事	人工呼吸器をつけながら、さまざまな表現法を編み出して地域で生きる100人の仲間たち	
2022年度	後期	13	松村真司	2022.12.14	東京大学・東京医科歯科大学臨床教授/松村医院院長	「町医者」を名乗り、名医だった父上の認知症、妹さんの知的障害を臨床に、教育、研究に、まちづくりに生かす	
2022年度	後期	9	大熊由紀子	2022.11.9	国際医療福祉大学大学院教授	障害と女性～私たち抜きで私たちのことを決めないで 歴史的に、国際的に比較しながら考えてみると	
2022年度	後期	11	相羽大輔	2022.11.30	愛知教育大学准教授/日本アルビニズムネットワーク	2万人に1人のアルビノ当事者の視点を活かしたりハビリテーション 障害×ゲーム×アクセシビリティの可能性	
2022年度	後期	8	池上英隆	2022.11.2	患者さんの困りごと相談窓口「どうするBOOKS」/エイ・ステーション代表	ネフローゼの体験とIT技術で患者会を応援 そして、この講座のなくてはならない影の応援団	
2022年度	後期	10	みつつん	2022.11.16	YouTube「ふたりばば」チャンネル	「ゲイが親になる」北欧スウェーデンと選択ができる社会	
2022年度	後期	4	勝村久司	2022.10.5	医療情報の公開・開示を求める市民の会代表世話人/元中医師協委員	病院の都合で投与された薬で死んでしまった 星子ちゃんが切り開いた新しい医療の道	
2022年度	後期	7	竹内哲哉	2022.10.26	NHK解説委員	パラリンピックは「レガシー」になりうるか？車いすの解説委員が見た2020	
2022年度	後期	6	高坂朝人	2022.10.19	日本自立準備ホーム協議会代表理事	逮捕歴15回の元非行少年が後輩の立ち直りを支援する全国組織をつくるまで	
2022年度	後期	5	竹下義樹	2022.10.12	日本視覚障害者団体連合会長/つくし法律事務所所長	盲目の身で司法試験に9回挑戦 「夢は人を変える」がモットーの剛腕弁護士	
2021年度	後期	3	稲葉一人	2021.9.29	中京大学 法科大学院教授	判事・検事・研究者を経験して考える 医療事故の倫理	
2021年度	後期	2	片木美穂	2021.9.22	卵巣がん体験者の会スマイリー	患者の思いと「人生会議」	
2021年度	後期	1	大熊由紀子	2021.9.15	国際医療福祉大学大学院教授	パラダイム転換を引き起こした 思想の数々	
2021年度	前期	13	鈴木隆子	2021.7.8	2020年修士課程卒業生	「前例を超え・創る」を本にする	
2021年度	前期	13	平岩千代子	2021.7.8	2021年修士課程卒業生	「前例を超え・創る」を本にする	
2021年度	前期	15	大熊由紀子	2021.7.22	国際医療福祉大学大学院教授	ゲスト講師に学んで「前例をつくる挑戦」へ	
2021年度	前期	14	秦融	2021.7.15	中日新聞編集局編集委員	「私は殺ろしていません」という手紙から始まり精神科医と手を携えて冤罪から救出した経験から学んだこと	
2021年度	前期	12	酒井七海	2021.7.1	HPVワクチン薬害訴訟全国原告団代表/立教大学大学院	今起きている薬害「子宮頸ガンワクチン」被害者をこれ以上ふやさないために	
2021年度	前期	8	佐藤嗣道	2021.6.3	東京理科大学薬学部佐藤研究室/いしづえ理事長	サリドマイド被害児が薬剤疫学の専門家になって薬害を防ぐ	
2021年度	前期	11	山崎英樹	2021.6.24	清山会グループ代表/いずみの杜診療所医師	小さな診療所から50数か所に広がって 地域と一緒に考えた、認知症とコロナ	

2021年度	前期	10	市原美穂	2021.6.17	全国ホームホスピス協会理事長	ホームホスピスという日本生まれの人生最終章 前例を超えた「かあさんの家」で次々と生れる物語
2021年度	前期	9	中村安秀	2021.6.10	日本WHO協会理事長/国際ボランティア学会会長/大阪大学名誉教授	小児科医から出発 途上国の母子保健の道を切り開き、そして、今
2021年度	前期	4	鈴木大介	2021.5.6	文筆家	病名からではなく「困りごと」から、というパラダイム転換 日本医学ジャーナリスト協会大賞受賞作が投げかけたもの
2021年度	前期	7	瀬戸山陽子	2021.5.27	ディベックス・ジャパン/東京医大教育IRセンター講師	ナラティブ・ベースド・メディシンをIT時代に生かす 障害をもつ身で学ぶこと・変えること
2021年度	前期	6	貫田直義	2021.5.20	元テレビ東京アメリカ・代表取締役社長	見知らぬ人が、突然、目の前に レビー小体認知症を体験して伝えたいこと
2021年度	前期	5	横倉義武	2021.5.13	日本医師会名誉会長	日本医師会・世界医師会の会長として 前例を超えたこと
2021年度	前期	1	大熊由紀子	2021.4.8	国際医療福祉大学大学院教授	前例を超えた創った4+4人の父 「前例を超える」ということ 世界で、日本で、前例を超え・創った人々と会って
2021年度	前期	3	保坂展人	2021.4.22	世田谷区長	中学卒業したてで国家賠償訴訟、その後、国会議員 いま、区長としてコロナ・認知症で前例を創る
2021年度	前期	2	石田昌宏	2021.4.15	参議院厚生労働委員会筆頭理事	分子生物学者志望から、看護の道、さらに、国会議員に転身して見えたもの
2021年度	後期	13	清水明彦	2021.12.8	西宮市社会福祉協議会副会長	たいへん障害の重い人たちが拓いてきた地域での暮らし
2021年度	後期	15	大熊由紀子	2021.12.22	国際医療福祉大学大学院教授	ゲスト講師から学んだこと、実行にうつしたこと
2021年度	後期	14	徳田靖之	2021.12.15	弁護士	裁判で変えるハンセン病・薬害スモン・薬害エイズ 再び始まる「子宮頸ガンワクチン」被害
2021年度	後期	12	澤憲明	2021.12.1	英国在住 General Practitioner	かかりつけ医 (GP) から見た新型コロナ禍における英国の医療
2021年度	後期	8	坂下裕子	2021.11.3	「小さないのち」	エンゼルカードで両親を支え医療者を変える
2021年度	後期	11	葛西善憲	2021.11.24	日本コンチネンス協会	失禁に関心をもつ医師がわずか4人だった時代、そして、いま
2021年度	後期	10	川内美彦	2021.11.17	一級建築士/前東洋大学教授	尊厳なきバリアフリー:「心・やさしさ・思いやり」に異議あり
2021年度	後期	9	大熊由紀子	2021.11.10	国際医療福祉大学大学院教授	前例を変える手法~日本と海外を比較して~
2021年度	後期	4	水谷緑	2021.10.6	『やってみたくなるオープンダイアログ』共著者	看護や医療を漫画で深める
2021年度	後期	7	藤野高明	2021.10.27	大阪市立盲学校西洋史担当・前教師/元全日本視覚障害者協議会会長	両目と両手を失い教師となる夢をかなえて
2021年度	後期	6	大谷のみ子	2021.10.20	大牟田市認知症ライフサポート研究会	絵本から始まった認知症になっても安心なまちづくり
2021年度	後期	5	今村彩子	2021.10.13	映画監督	聴こえない身でつくり続けた映画から生れたもの
2020年度	後期	3	舛添要一	2020.9.30	国際政治学者	当事者の立場に立って 厚生労働省で、都庁で、変えたこと、勝ち取ったこと
2020年度	後期	2	岩田一成	2020.9.23	聖心女子大学教授	「伝わる日本語」を広める 自治体・学校・医療機関への挑戦
2020年度	後期	2	武田裕子	2020.9.23	順天堂大学医学部教授 (医学教育)	「伝わる日本語」を広める 自治体・学校・医療機関への挑戦
2020年度	後期	1	大熊由紀子	2020.9.16	国際医療福祉大学大学院教授	倫理と度胸と想像力と
2020年度	前期	13	石津道弘	2020.8.6	憩の家みち家長	ヤンキーが新しい福祉を創出して静岡県知事表彰を受けるまで
2020年度	前期	13	高橋邦典	2020.8.6	静岡県社協常務理事 (元静岡県福祉長寿局長)	ヤンキーが新しい福祉を創出して静岡県知事表彰を受けるまで
2020年度	前期	15	大熊由紀子	2020.8.20	国際医療福祉大学大学院教授	ゲスト講師に学んで「前例を創る」挑戦へ
2020年度	前期	14	長尾能雅	2020.8.13	名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授/医療の質安全学会 理事長	医療安全は現代医療の「さらなる進歩」のキーワード
2020年度	前期	9	柳家花緑	2020.7.9		小中学校では、「学習障害」児 いま、落語界の麒麟児 戦後の落語界・最年少で真打ち
2020年度	前期	12	向谷地宣明	2020.7.30		「べてぶくろ」という不思議な居場所
2020年度	前期	12	路上生活経験者のみなさん	2020.7.30		「べてぶくろ」という不思議な居場所

2020年度	前期	11	小藤幹恵	2020.7.23	石川県看護協会会長/前金沢大学附属病院 副 病院長・看護部長	ナース発・大学病院の文化を変えた身体拘束ゼロ	
2020年度	前期	8	隈本邦彦	2020.7.2	NHK記者⇒江戸川大学メディアコミュニケ ーション学部教授	誰のための医療報道か?～取材する側から、される側になってわかったこ と～	
2020年度	前期	10	松谷有希雄	2020.7.16	国際医療福祉大学大学院教授	医政局長がハンセン療養所園長になって変えたこと	
2020年度	前期	5	林真奈美	2020.6.4	読売新聞東京本社 調査研究本部主任研究員	インタビューするということ	
2020年度	前期	7	中村秀一	2020.6.25	国際医療福祉大学大学院教授	行政官の特技を駆使して 前例を超えた流儀	
2020年度	前期	6	大熊由紀子	2020.6.18	国際医療福祉大学大学院教授	「前例を創る」ということ	
2020年度	前期	1	渡辺晋	2020.5.7	読売新聞 社会部デスク	東京医大の不正入学事件 新聞キャンペーンの手法と反響	
2020年度	前期	4	上野千鶴子	2020.5.28	東京大学名誉教授	道なき道を歩む：女性学をつくる	
2020年度	前期	3	大熊由紀子	2020.5.21	国際医療福祉大学大学院教授	「前例を超える」ということ	
2020年度	前期	2	鹿島真人	2020.5.14	NHKディレクター	テレビメディアで、動かす「時男さん・60歳からの青春」がまきおこした もの	
2020年度	後期	13	大川貴志	2020.12.9	社会福祉法人同愛会統括所長	強度行動障害という言葉からおもい浮かべるもの 『風は生きよという』 と『道草』の間	
2020年度	後期	13	宍戸大裕	2020.12.9	映像作家	強度行動障害という言葉からおもい浮かべるもの 『風は生きよという』 と『道草』の間	
2020年度	後期	15	大熊由紀子	2020.12.23	国際医療福祉大学大学院教授	当事者の思いを実現するためにどう、壁を乗り越えたのか～ゲストの体験 から考える	
2020年度	後期	12	堂本暁子	2020.12.2	前千葉県知事	条例で日本の行政を変え そして今、女性受刑者の身になって	
2020年度	後期	14	上東麻子	2020.12.16	毎日新聞統合デジタル取材センター	植松死刑囚が、津久井やまゆり園で見たこと、体験したこと	
2020年度	後期	14	渡辺一史	2020.12.16	『こんな夜更けにバナナかよ』著者	植松死刑囚が、津久井やまゆり園で見たこと、体験したこと	
2020年度	後期	8	青木隆子	2020.11.4	アナウンサー⇒ディレクター⇒記者⇒知事候 補⇒大学院生	★“くわど宝”を全国へ～ローカルテレビだからこそできること～	
2020年度	後期	11	高橋邦典	2020.11.25	静岡県社会福祉協議会常務理事	熊本県庁・静岡県庁のカリスマに共通するもの	
2020年度	後期	11	森枝敏郎	2020.11.25	熊本県地域福祉実践研究会代表	熊本県庁・静岡県庁のカリスマに共通するもの	
2020年度	後期	10	山田正人	2020.11.18	『経産省の山田課長補佐、ただいま育休中』 著者	初代イクメン、消費者行政でも前例を創る	
2020年度	後期	9	河原理子	2020.11.11	元朝日新聞編集委員	犯罪被害者の話を聴く 原点としての「性暴力を考える」	
2020年度	後期	4	荒中	2020.10.7	日本弁護士連合会会長	障害のある人々の権利擁護 ～親として、夫として、弁護士として学んだ こと～	
2020年度	後期	7	小島祥美	2020.10.28	愛知淑徳大学 交流文化学部教授⇒東京外国 語大学多言語多文化共生センター准教授	すべての子どもに学ぶ場を 外国人の子どもの不就学ゼロをめざして	
2020年度	後期	7	三好圭	2020.10.28	前・文部科学省男女共同参画共生社会学習・ 安全課長	すべての子どもに学ぶ場を 外国人の子どもの不就学ゼロをめざして	
2020年度	後期	6	伊藤芳浩	2020.10.21	インフォメーションギャップバスター理事 長	きこえない私が痛感した 自立をさまたげる社会の大きな壁	
2020年度	後期	5	吉野由美子	2020.10.14	視覚障害リハビリテーション協会前会長	ロービジョンという視覚障害をご存じですか ～視覚障害の本当の全体像 を理解して～	
2019年度	後期	15	鈴木隆子	2020.1.8		魅力的なゲストから学んだことを明日に生かすためにゲスト講師に共通す ること、異なっていることを比較しながら考える	
2019年度	後期	15	瀬戸山陽子	2020.1.8		魅力的なゲストから学んだことを明日に生かすためにゲスト講師に共通す ること、異なっていることを比較しながら考える	
2019年度	後期	1	小林律子	2019.9.25	船後靖彦参院議員・公設秘書	日本初のALSの国会議員と介助革命を起こしたクローさん、ラツカさん 、ロバーツさんを比較して	
2019年度	前期	12	榊原千秋	2019.7.4	うんこ文化センターおまかせうんちッチ代表	P00マスターの0歳から100歳以上までの便育 お腹にやさしいは地域にやさ しい	
2019年度	前期	15	大熊 由紀子	2019.7.25	国際医療福祉大学大学院教授	まとめ	

2019年度	前期	14	寺本英仁	2019.7.18	邑南町役場食と農産業戦略室調査監	高齢化率43%過疎の町が出生率2・65 日本一の子育て自治体になったわけ	
2019年度	前期	13	福井大輔	2019.7.11	株式会社未来企画 代表取締役	つながり育む「アングランチ（あなたの家）」	
2019年度	前期	8	神戸金史	2019.6.6	RKB毎日放送 東京報道部長	障害を持つ息子よ。そのままがいい	
2019年度	前期	11	井階友貴	2019.6.27	福井大学医学部 地域プライマリケア講座教授	赤ふん坊やと一緒に健康なまちをつくる	
2019年度	前期	10	神野直彦	2019.6.20	日本社会事業大学学長	経済学は悲しみを分かち合うために	
2019年度	前期	9	菅原健介	2019.6.13	ぐるんどびー 代表取締役	団地の一角から始まる「ヒュッグ」な地域づくり～	
2019年度	前期	4	佐々木淳	2019.5.9	医療法人社団悠翔会 理事長・診療部長	治らない病気を支え続ける	
2019年度	前期	7	内田直樹	2019.5.30	たろうクリニック院長	認知症のひとに寄り添う在宅医療	
2019年度	前期	6	前田隆行	2019.5.23	町田市つながりの開DAYS BLG！ 理事長	認知症の人の「はたらきたい」を叶える～その先へ～	
2019年度	前期	5	藤原るか	2019.5.16	共に介護を学びあい励ましあいネットワーク主宰	霞が関が前例をこえるとき 世界のヘルパーさんと出会う旅から	
2019年度	前期	3	佐藤光展	2019.4.25	医療ジャーナリスト/元読売新聞記者	なぜ、日本の精神医療は暴走するのか～大新聞にいて書けなかった事実～	
2019年度	前期	2	高橋卓志	2019.4.18	神宮寺住職/龍谷大学客員教授	現代・死に方考 タテマエの僧衣（ころも）を脱ぎ去って	
2019年度	前期	1	大熊由紀子	2019.4.11	国際医療福祉大学大学院教授	前例を超えて創造する流儀 ～人をつなぐ・地域でつなぐ・言葉で変える～	
2019年度	後期	11	綾屋紗月	2019.12.4	アスペルガー症候群当事者	逆説から生れ、広がる未来 ピアサポート、当事者運動、当事者研究	
2019年度	後期	11	熊谷晋一郎	2019.12.4	東京大学先端科学技術研究センター准教授/ 電動車いすの小児科医	逆説から生れ、広がる未来 ピアサポート、当事者運動、当事者研究	
2019年度	後期	14	上野秀樹	2019.12.25	千葉大学医学部附属病院特任准教授	精神科医が直腸がん手術を経験してわかったこと ～診療ががらりと変わってしまったわけ～	
2019年度	後期	13	首藤義敬	2019.12.18	株式会社Happy代表取締役	多動系ADHDの若者が切り拓いた 『一人のプロより百人の素人』というはっぴー絵量を増やす法則	
2019年度	後期	12	藤本裕	2019.12.11	シンガーソングライター	少年院で、「大志」をいだけ 「反省文」で文章がメキメキ上達して記者に	
2019年度	後期	12	吉永拓哉	2019.12.11	サンパウロ新聞社 福岡支局長/セカンドチャンス！福岡 運営者	少年院で、「大志」をいだけ 「反省文」で文章がメキメキ上達して記者に	
2019年度	後期	7	岩岡朋子	2019.11.6	YOKOHAMA VOX	糖尿病と付き合う極意 当事者と専門医が、結婚したら。。	
2019年度	後期	7	岩岡秀明	2019.11.6	船橋市立医療センター代謝内科部長	糖尿病と付き合う極意 当事者と専門医が、結婚したら。。	
2019年度	後期	10	近藤愛	2019.11.27	特別養子当事者	特別養子の経験をソーシャルワークに生かして	
2019年度	後期	9	小野春	2019.11.20	にじいろかぞく代表	同性パートナーと生きる ～子育て、がん、「結婚の自由をすべての人に訴訟」の原告になるまで～	
2019年度	後期	8	大塚智丈	2019.11.13	三豊市立西香川病院院長	認知症になったからこそ、わかること～心通わせ、相談員として、病院で働いて行うピアサポート～	
2019年度	後期	8	渡辺康平	2019.11.13	観音寺民主商工会元会長/病院相談員	認知症になったからこそ、わかること～心通わせ、相談員として、病院で働いて行うピアサポート～	
2019年度	後期	3	清水紀子	2019.10.9	NPO法人患者・家族と医療をつなぐ「架け橋」副理事長	医療事故から学び 安全と信頼の医療へ ～医療不信の底から、医療者の人たちに救われ、応援する今～	
2019年度	後期	6	田中とも江	2019.10.30		ここにこられない1万人を超える身体拘束されている方々に代わって飛び入りゲストがw(° o °)w	
2019年度	後期	6	月崎時央	2019.10.30		ここにこられない2万人を超える身体拘束されている方々に代わって飛び入りゲストがw(° o °)w	
2019年度	後期	6	難波純	2019.10.30		ここにこられない3万人を超える身体拘束されている方々に代わって飛び入りゲストがw(° o °)w	
2019年度	後期	5	中原のりこ	2019.10.23	医師の働き方考える会共同代表/薬剤師	子どもたちに慕われる小児科医だった夫の遺言～医師・ナース・介護者の過労死をなくすために～	
2019年度	後期	2	小椋武夫	2019.10.2	全国ろうあ連盟理事	聴こえる人と聞こえない人をつなぐ 電話もバリアフリーサービスに	

2019年度	後期	4	山崎泰広	2019.10.16	アクセスプランニング チーフコンサルタント/順天堂大学 医学部非常勤講師	突然の事故から40年、自立支援に米国で培った3つの方法を実践 パラスポーツ、バリアフリー、まちづくり、シーティング、そして、今	
2018年度	後期	14	小松敏彰	2019.1.9	北里大学病院危機管理部感染管理室主任	小児がん経験者の全国ネットワークから社会に伝えたいこと	
2018年度	後期	14	堀江久樹	2019.1.9	国際医療福祉大学大学院博士課程	小児がん経験者の全国ネットワークから社会に伝えたいこと	
2018年度	後期	15	大熊由紀子	2019.1.16	国際医療福祉大学大学院教授	魅力的なゲストのみなさんから学んだことを、それぞれの明日に生かすための大討論会	
2018年度	後期	1	佐藤雅彦	2018.9.26	認知症本人ワーキンググループ副代表	Nothing About Us Without Us イタリア、デンマーク、スウェーデン、フィンランド、オランダ、ベルギー、アメリカ、イギリスを訪ねて	
2018年度	前期	12	永田久美子	2018.7.5	認知症介護研究研修東京センター研究部長	認知症本人が発信する 実現するまでの40年、その背景とこれから	
2018年度	前期	15	向谷地生良	2018.7.26	北海道医療大学教授/浦河べてるの家理事	幻覚&妄想大会から始まった みんなで研究みんなで発見	
2018年度	前期	14	古瀬敏	2018.7.19		長寿社会対応住宅設計指針・作成の敬意	
2018年度	前期	14	田中とも江	2018.7.19		身体拘束廃止の今日的背景と流れ	
2018年度	前期	14	田中とも江	2018.7.19		飛び入りゲストをお迎えして	
2018年度	前期	14	永井裕之	2018.7.19		降ってわいた医療事故で妻が急死	
2018年度	前期	13	虫明元	2018.7.12	東北大学医学部生体システム生理分野教授	脳科学者からみた 変革・挑戦・心の多様性	
2018年度	前期	8	熊田貴之	2018.6.7	日吉病院理事長	薬と入院への依存から脱け出す精神病院へ 身体拘束も、みずから体験して	
2018年度	前期	8	町永俊雄	2018.6.7		薬と入院への依存から脱け出す精神病院へ 身体拘束も、みずから体験して	
2018年度	前期	11	宮袋季美	2018.6.28	NPO法人「ふらっと」代表	障害福祉の常識を壊す金髪の魔女	
2018年度	前期	10	奥田知志	2018.6.21	牧師/NPO法人抱樸理事長	生きてさえいれば笑えるんや、3000人のホームレスと絆を結んで	
2018年度	前期	9	猪瀬美樹	2018.6.14	NHK厚生文化事業団チーフディレクター	恋するようにボランティアをバンクミケルセンとバザーリアと	
2018年度	前期	7	赤津晴子	2018.5.31	国際医療福祉大学医学部教授	新時代の医学教育をめざす～国際的視野と医療安全と～	
2018年度	前期	7	宮田哲郎	2018.5.31		新時代の医学教育をめざす～国際的視野と医療安全と～	
2018年度	前期	6	下河原忠道	2018.5.24	株式会社シルバーウッド代表取締役	バーチャルリアリティーで体験する認知症、そして、駄菓子屋のある高齢者住宅	
2018年度	前期	5	井手英策	2018.5.17	慶応義塾大学経済学部教授	財政社会学から日本の医療福祉の明日を考える	
2018年度	前期	4	杉本浩司	2018.5.10	ウエルガーデン・法人本部採用企画室室長	介護のイメージを「カッコイイ」に変えた元ファッションモデル	
2018年度	前期	3	山国秀幸	2018.4.26	映画プロデューサー	映画「ケアニン」で介護の世界に新風を起こせたカギは？	
2018年度	前期	2	関野吉晴	2018.4.19	探検家/医師/武蔵大学教授	世界の辺境から文化人類学的に 日本の医療福祉と文明を見つめる	
2018年度	前期	1	石川信義	2018.4.12	三枚橋病院創設者	居場所・味方・誇り～前例をこえるということ	
2018年度	後期	11	高橋純也	2018.12.5	ユニバーサルデザインコーディネーター	全盲としての体験を出前授業 私生活で見えてきた「健常者」と「障害者」の関係性	
2018年度	後期	13	青木志帆	2018.12.19	弁護士/明石市社会福祉協議会 権利擁護推進担当課長	難病の体験「これじゃ生きていかれへん」を明石市の行政現場に生かして	
2018年度	後期	12	相良啓子	2018.12.12	国立民族学博物館手話言語学研究部門	ろう者のツアーコンダクターから手話言語学の研究者へ	
2018年度	後期	7	浅岡輝彦	2018.11.7	弁護士	閉じ込めなければ、罪ですか？ある日突然、720万円の請求書・認知症鉄道事故裁判	
2018年度	後期	7	銭場裕司	2018.11.7	毎日新聞社会部キャップ	閉じ込めなければ、罪ですか？ある日突然、720万円の請求書・認知症鉄道事故裁判	
2018年度	後期	7	高井隆一	2018.11.7	認知症鉄道事故裁判 遺族	閉じ込めなければ、罪ですか？ある日突然、720万円の請求書・認知症鉄道事故裁判	
2018年度	後期	10	勝村久司	2018.11.28	医療情報の公開・開示を求める市民の会世話人	わが子の死の原因をつきとめた理科の先生 中医協委員として、群馬大病院事故調査委員として、医療被害を防ぐために	
2018年度	後期	9	奥山修平	2018.11.21	ウェブディレクター	騎馬戦で頸髄損傷に～ノーマライゼーションの国 デンマークの1年で知ったこと	
2018年度	後期	8	北山ユリ	2018.11.14	医療通訳の第一人者	飛び入りゲストを迎えて	
2018年度	後期	6	樋口直美	2018.10.31	『私の脳で起こったこと』著者	認知症とともに生きる私たちからのメッセージ	

2018年度	後期	6	藤田和子	2018.10.31	日本認知症本人ワーキンググループ代表	認知症とともに生きる私たちからのメッセージ	
2018年度	後期	2	夏苺郁子	2018.10.3	精神科医	統合失調症の母をもって 見えたもの	
2018年度	後期	5	打出喜義	2018.10.24	産婦人科医	内部告発という名のボランティア そして、いま、「子宮頸がんワクチン」を語る	
2018年度	後期	4	吉藤オリィ	2018.10.17	ロボットコミュニケーター	世界から注目される孤独を解消する「分身ロボット」登校拒否の経験から	
2018年度	後期	3	明石徹之	2018.10.10	川崎市職員・夢見ヶ崎動物公園	我が家のレインマンは、ひょうきんな公務員～あたりまえに、地域に生きて、45年～	
2018年度	後期	3	明石洋子	2018.10.10	川崎市自閉症協会代表理事	我が家のレインマンは、ひょうきんな公務員～あたりまえに、地域に生きて、45年～	
2017年度	後期	2	石井更幸	2017.9.27	アルビノ ドーナツの会顧問	医師も知らない！万人にひとりの遺伝病アルビノ 幸せに生きるための日本初の入門書が評判	
2017年度	後期	1	大熊由紀子	2017.9.20	本大学院教授（医療福祉ジャーナリズム分野）	「でんぐりがえしプロジェクト」の極意を解剖すると	
2017年度	前期	12	橋本武也	2017.7.6	京都市老人福祉施設協議会 地域包括ケアプロジェクト委員長	介護福祉の「匠」を育てる～京都発 地域の安心をデザインして、実践～	
2017年度	前期	15	大泉江里	2017.7.27		飛び入りゲストを迎えて。。	
2017年度	前期	15	咲穂ちゃん	2017.7.27		飛び入りゲストを迎えて。。	
2017年度	前期	15	堀内正弘	2017.7.27	多摩美術大学造環境デザイン学科 教授/「シェア奥沢」	飛び入りゲストを迎えて。。	
2017年度	前期	15	松田妙子	2017.7.27	NPO法人「せたがや子育てネット」代表理事	飛び入りゲストを迎えて。。	
2017年度	前期	14	花戸貴司	2017.7.20	東近江市永源寺診療所	ご飯がたべられなくなったらどうしますか？～住みなれた地域での人生最終章～	
2017年度	前期	13	高橋睦子	2017.7.13	吉備国際大学教授	フィンランドの福祉社会と改革の力 ～ネウボラ、オープンダイアログ、ラヒホイタヤから見えてくるもの～	
2017年度	前期	8	大熊由紀子	2017.6.8	本大学院教授（医療福祉ジャーナリズム分野）	私の実験・私の挑戦～日本の医療と福祉を変えるために	
2017年度	前期	11	イブ・ジネスト	2017.6.29		ユマニチュードの哲学と技術 /情報学的分析と展望 ～特別ゲスト イブ・ジネスト先生を迎えて～	
2017年度	前期	11	本田美和子	2017.6.29	国立病院機構 東京医療センター 総合内科医長	ユマニチュードの哲学と技術 /情報学的分析と展望 ～特別ゲスト イブ・ジネスト先生を迎えて～	
2017年度	前期	10	石川誠	2017.6.22	医療法人輝生会理事長	メスを置き、リハ医として生きる 前編 後編	
2017年度	前期	9	伊藤千尋	2017.6.15	国際ジャーナリスト	人にやさしい国はいかに創られたか ～「純粋な人生」と声をかけあうコスタリカから～	
2017年度	前期	7	銭本隆行	2017.6.1	フォルクフォイスコーレ前院長	幸福度世界一のデンマーク ～歴史と国民性をたどる～	
2017年度	前期	6	西田淳志	2017.5.25	東京都医学総合研究所 プロジェクトリーダー	認知症 政策 ～世界の常識・日本の非常識～	
2017年度	前期	5	宇都宮宏子	2017.5.18	退院支援の伝道師	暮らしの場でこそ看護の真価 病院に“殴り込み”をかけたカリスマナース	
2017年度	前期	4	大熊一夫	2017.5.11	ジャーナリスト	精神病院を使わない社会～イタリア人の「叡智」と「執念」と「団結」～	
2017年度	前期	3	池田徹	2017.4.27	生活クラブ風の村 理事長	赤ちゃんから看取りまで ～生協から始まった「風の村」の挑戦～	
2017年度	前期	2	岡澤憲英	2017.4.20	早稲田大学名誉教授	スウェーデンの挑戦:《貧しい農業国家》から《豊かな福祉工業国家》へ	
2017年度	前期	1	長野敏宏	2017.4.13	NPOなんぐん市場/御荘診療所	150ベッドの精神病院の病床 まちの人と協力して20年がかりでゼロに	
2017年度	後期	12	堀 利和	2017.12.6	社会福祉法人 共同連理事長	視覚障害のある日本初の参議院議員 白杖は「凶器」と持ち込めなかった時代に	
2014年度	後期	11	石黒秀喜	2017.12.3	長寿社会開発センター理事	アルチャーハイマーが語る認知症への備え	

2017年度	後期	15	佐久間りか	2017.12.27		もう一つの「でんぐりがえしプロジェクト」ディベックス	
2017年度	後期	15	瀬戸山陽子	2017.12.27		もう一つの「でんぐりがえしプロジェクト」ディベックス	
2017年度	後期	15	別府宏園	2017.12.27		もう一つの「でんぐりがえしプロジェクト」ディベックス	
2017年度	後期	15	射場典子	2017.12.27		もう一つの「でんぐりがえしプロジェクト」ディベックス	
2014年度	後期	14	向谷地宣明	2017.12.24		社会を変える・政策を変えるということ	
2017年度	後期	14	永田龍太郎	2017.12.20	渋谷区総務部男女平等・ダイバーシティセンター	オープンリーゲイの渋谷区ダイバーシティ推進担当課長	
2017年度	後期	13	村木厚子	2017.12.13	前 厚生労働省事務次官	冤罪で拘留所に囚われて知ったこと 3000万円の慰謝料をもとに始めたこと	
2014年度	後期	12	神山忠	2017.12.10	岐阜市立岐阜特別支援学校 地域支援センター センター長	読み書き障害（学習障害）者が教師になって見えた社会の在りよう	
2017年度	後期	8	埴岡健一	2017.11.8		でんぐりがえしプロジェクトシリーズから学ぶもの	
2014年度	後期	7	大熊由紀子	2017.11.5	本大学院教授	「常識」を疑うということ	
2017年度	後期	11	パトリック・サベジ	2017.11.29	オックスフォード大学	身体拘束10日めの夜、心肺停止で発見された弟の死、日本の医療改革に生かしてほしい	
2014年度	後期	10	志村福子	2017.11.26	元・千葉県がんセンター麻酔科医	なぜ内部告発しなればならなかったのか ～千葉県がんセンターの場合～	
2017年度	後期	10	エーミル・オストベリ	2017.11.22	スウェーデン・クオリティケア	パラリンピック銀メダルの経験を生かして スウェーデンの福祉を日本に伝える	
2014年度	後期	9	奥山葉月	2017.11.19	NPO法人自立生活センター・立川理事長	障害者として、理事長として、母として	
2017年度	後期	9	内谷正文	2017.11.15	俳優	麻薬に溺れ、弟まで巻き込んでしまった体験 一人体験劇で訴えて12年	
2014年度	後期	8	高岡正	2017.11.12	一般法人全日本・難聴者団体連合会 相談役	難聴と佐村河内氏問題 障害者権利条約、そして、私	
2017年度	後期	7	あや子	2017.11.1		精神病の体験を、あとに続く人々のために減薬プロジェクト	
2017年度	後期	7	ノリ	2017.11.1		精神病の体験を、あとに続く人々のために減薬プロジェクト	
2017年度	後期	7	松本葉子	2017.11.1		精神病の体験を、あとに続く人々のために減薬プロジェクト	
2014年度	後期	3	太田秀樹	2017.10.8	全国在宅療養支援診療所連絡会事務局長	元・絶滅危惧種が語る「出前医療」23年の実践から	
2017年度	後期	3	皆川愛	2017.10.4	看護師/養護教諭	聾の両親の娘として、聾のナースとして 大学院で学び、いま、見つけた働く道	
2014年度	後期	6	山本深雪	2017.10.29	大阪精神医療人権センター副代表	扉よ開け 大阪の精神病棟への訪問活動より	
2017年度	後期	6	丹野智文	2017.10.25	オレンジドア	「早期発見⇒早期絶望」だった認知症 いま、希望と権利へ	
2017年度	後期	6	山崎英樹	2017.10.25	いずみの杜診療所	「早期発見⇒早期絶望」だった認知症 いま、希望と権利へ	
2017年度	後期	5	海老原宏美	2017.10.18	自立生活センター・東大和理事長	重度障害者が存在する意味～相模原事件から受け取るもの～	
2014年度	後期	4	小高公聡	2017.10.15	N T Tクラリティ アクセシビリティ推進室長	見えない・聞こえないからこそできる仕事がある ～ある特例子会社の取り組み	
2017年度	後期	4	新熊悟	2017.10.11	新潟大学医歯学総合病院皮膚科准教授	“触ると壊れる子供たち”と呼ばれる表皮水疱症の当事者として、研究者として	
2014年度	後期	2	向谷地生良	2017.10.1	北海道医療大学教授	幻聴さんと「べてるな人々」出会いと商売繁盛	
2016年度	後期	15	大熊由紀子	2017.1.18	本大学院教授	飛び入りゲストを迎えて。。	
2016年度	後期	14	長谷川利夫	2017.1.11	杏林大学保健学部教授	銀行員だったからこそ見えた日本の精神病院の不可解、不条理、非常識	
2016年度	後期	1	大熊由紀子	2016.9.28	本大学院教授（医療福祉ジャーナリズム分野）	「でんぐりがえしプロジェクト」の極意を解剖すると	
2016年度	前期	13	上野秀樹	2016.7.7	千葉大学地域医療連携部特任准教授/精神科医	医療の限界・ケアの可能性 認知症になっても幸せに	
2016年度	前期	15	増崎孝弘	2016.7.21	メディヴァ シニアコンサルタント	飛び入りゲストを迎えて。。	
2016年度	前期	14	伊原和人	2016.7.14	厚生労働省大臣官房審議官	現場と政策をつなぐ 厚生労働官僚の思いと仕事 介護・医療・障害・少子化・年金を担当して30年	
2016年度	前期	9	堀田聰子	2016.6.9	本大学院教授	在宅ケアのルネッサンス 人材不足を問い直す	

2016年度	前期	12	志村季世恵	2016.6.30	ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン理事	感じる・聴こえる・見えてくる 暗闇から世界が変わる	
2016年度	前期	12	志村真介	2016.6.30	ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン代表	感じる・聴こえる・見えてくる 暗闇から世界が変わる	
2016年度	前期	11	土屋文人	2016.6.23	国際医療福祉大学薬学部特任教授/日本病院薬剤師会副会長	クスリとリスク ミス・事故から学んで、安全システムへ	
2016年度	前期	8	森田 明	2016.6.2	東京大学名誉教授/国立社会保障・人口問題研究所所長	会議の魔力・会議の魅力「審議会の不思議」の政治学	
2016年度	前期	10	熊谷晋一郎	2016.6.16	小児科医/東京大学先端科学技術研究センター准教授	自立と依存・絶望と希望の意外な間柄 当事者研究の挑戦	
2016年度	前期	7	埴岡健一	2016.5.26	本大学院教授	戦略・戦術・ネットワーク	
2016年度	前期	6	磯野真穂	2016.5.19	本大学院保健医療学看護学分野 講師 文化人類学・医療人類学	人間を数値化しないアプローチ 質的研究の魅力とこれから	
2016年度	前期	5	佐藤博樹	2016.5.12	中央大学大学院戦略経営研究科教授/内閣府ワーク・ライフ・バランス推進官民トップ会議委員	誤解だらけのダイバーシティとWLB 働き方改革のカナメは？	
2016年度	前期	1	大熊由紀子	2016.4.7	本大学院教授（医療福祉ジャーナリズム分野）	発信力の極意を解剖すると	
2016年度	前期	4	寺田和弘	2016.4.28	デンマーク大使館上席政治経済担当官	福祉先進国と同性婚先進国の深い関係 デンマークから、なにを学べるか？	
2016年度	前期	3	花井十伍	2016.4.21	中央社会保険医療協議会委員	薬害エイズ原告団長が中医協委員にそして、見えてきたこと	
2016年度	前期	2	飯田大輔	2016.4.14	福祉楽団 常務理事/kk恋する豚研究所代表取締役	地域の風景をつくる福祉の新しいかたち 恋する豚は、なぜ、おいしくて魅力的？	
2016年度	後期	11	埴岡健一	2016.12.7	本大学院教授	白血病で世を去った妻が残した手紙 そして、経済ジャーナリストから医療の世界へ	
2016年度	後期	13	大河内直之	2016.12.21	バリアフリー映画研究会理事長/東大先端科学技術研究センター 特任研究員	「全盲」という特技で	
2016年度	後期	12	島田豊彰	2016.12.14	NPO地域精神保健福祉機構（コンボ）専務理事	精神病体験者の笑顔が表紙を飾るコンボ その「助っ人」として製薬業界から転身 ご本人が医療を選べる「見える化」に挑戦	
2016年度	後期	7	皆川明子	2016.11.9	がんば聾チーム代表	ろうの患者学～ろうのがんサバイバーとして～	
2016年度	後期	10	川村晃司	2016.11.30	本大学院特任教授	腎臓移植で甦ったテレビコメンター その視点	
2016年度	後期	9	東俊裕	2016.11.23	熊本学園大学教授/弁護士	熊本地震の真ん中に立って見えてきた障害者の実像	
2016年度	後期	6	川田綾子	2016.11.2	医療の良心を守る市民の会 事務局長	「連続医療事故」を起こした大学病院と協力して病院改革を進める遺族たち	
2016年度	後期	8	大熊由紀子	2016.11.16	本大学院教授	米国で、西欧で、北欧で、日本の各地で 出会った逆転の実践	
2016年度	後期	2	上村数洋	2016.10.5	バーチャルメディア工房ぎふ理事長	首から下が動かない身で、障害のある仲間にITで働く仕事をつくりだした日々、そして、突然。。	
2016年度	後期	5	間宮清	2016.10.26	NPO法人 患者スピーカーバンク 研修担当	母が飲んだサリドマイドで両腕を失ったデザイナーが、いま、目指す薬害根絶	
2016年度	後期	4	小泉圭司	2016.10.19	元気スタンド「ぷリズム」代表	「お年寄りが主役のまちづくり」の仕掛け人は、スーパーの元敏腕課長	
2016年度	後期	3	中村吉基	2016.10.12	日本キリスト教団新宿コミュニティ教会	性的マイノリティとともに生きる、元先生の新宿の牧師	
2015年度	後期	13	高橋玲子	2016.1.6	経済産業省国際標準課	絵本が大好きな女の子が4歳で失明。玩具メーカー「タカラトミー」から、経済産業省の国際標準専門職に転身。ITと英語力を生かして世界に羽ばたいて見た世界は？	
2015年度	後期	15	大熊由紀子	2016.1.20	本大学院教授	魅力的なゲストのみなさんから学んだことを、それぞれの明日に生かすための大討論会	
2015年度	後期	14	野々村光子	2016.1.13	東近江圏域 働き・暮らし応援センター センター長	ひきこもれる力・生きにくい力を、働く力に変えていく。そんな応援センターの名は“Tekitoo（テキトー）”。地域を応援団にしていくな天才的な味方づくりの秘密と仕掛けは？	

2015年度	後期	1	けんたろう	2015.9.30		なぜ、当事者から？ 現場から？ なぜ、倫理を変える必要が？	
2015年度	前期	13	市川亨	2015.7.9	共同通信社・生活報道部 遊軍キャップ	記者クラブ、海外特派員の経験から	
2015年度	前期	15	大熊由紀子	2015.7.23	国際医療福祉大学大学院教授	このシリーズで学んだことを参加のみなさん全員でディスカッション	
2015年度	前期	12	銭場裕司	2015.7.2	特別報道という手法	毎日新聞特別報道グループキャップ	
2015年度	前期	14	生井久美子	2015.7.16	朝日新聞 記事審査室幹事	体験取材、そして、キャンペーン	
2015年度	前期	8	大熊由紀子	2015.6.4	国際医療福祉大学大学院教授	発信力を高める言葉、数字、映像、そして、物語	
2015年度	前期	11	中村秀一	2015.6.25	本学国際医療福祉総合研究所所長/医療介護福祉政策研究フォーラム代表	スウェーデン大使館、霞が関の係長、企画官、課長、局長として	
2015年度	前期	10	横田俊平	2015.6.18	横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学名誉教授	小児神経専門の臨床医からみた「子宮頸がんワクチン」というもの	
2015年度	前期	9	藤野泰平	2015.6.11	日本男性看護師会 創始者	町にかけつけナースを創るために	
2015年度	前期	4	古川和稔	2015.5.7	聖隷クリストファー大学教授	お笑い芸人が 福祉の大学教授になると。。	
2015年度	前期	7	森田洋之	2015.5.28	南日本ヘルスリサーチラボ代表/元タ張市立診療所所長	医療崩壊のススメ、だから幸せに暮らせるタ張市民、なぜ？	
2015年度	前期	6	野田聖子	2015.5.21	衆議院議員	生れた命にありがとう(親子3人で)	
2015年度	前期	5	松森果林	2015.5.14	ユニバーサルデザインアドバイザー/内閣府障害者政策委員会委員	音のない世界と、音のある世界をつなぐために	
2015年度	前期	1	大熊由紀子	2015.4.9	国際医療福祉大学大学院教授	新聞、社説、書籍、雑誌、ML、フェイスブックの発信を体験して	
2015年度	前期	3	菅俣弘道	2015.4.23	養子縁組家族の集まり絆の会事務局	親に恵まれない子どもたちの 幸せをもとめて。	
2015年度	前期	3	藤井康弘	2015.4.23	厚生労働省障害保健福祉部部長	親に恵まれない子どもたちの 幸せをもとめて。	
2015年度	前期	2	家森幸男	2015.4.16	武庫川女子大学国際健康開発研究所所長/京都大学名誉教授	冒険病理学者がつきとめた 長寿の秘密	
2015年度	後期	11	川内美彦	2015.12.9	東洋大学人間環境デザイン学科教授	ユニバーサルデザイン思想の真髄を身をもって世界に広める第一人者は一級建築士で、車いすユーザー。そしてロン・メイスの盟友。	
2015年度	後期	10	糸川昌成	2015.12.2	東京都医学総合研究所 病院等連携研究センター長	生き別れた母が統合失調症と知った若き日、そして、父の認知症を体験した高名な分子生物学者が見つけた「臨床家が研究する意味」	
2015年度	後期	12	樗澤加津人	2015.12.16	聾の語り部	誕生から78歳の現在まで体験しつくした聾の世界。だれもが感動するカリスマ手話通訳士の妙技もあわせて。	
2015年度	後期	12	山口千春	2015.12.16	手話通訳	誕生から78歳の現在まで体験しつくした聾の世界。だれもが感動するカリスマ手話通訳士の妙技もあわせて。	
2015年度	後期	6	三好綾	2015.11.4	全国がん患者団体連合会事務局長	27歳で乳がん手術。当時は若い同患者に巡り会えず、ひとりぼっちで再発に怯えていました。40歳のいま、全国のがん患者会をまとめる事務局長になつての新たな挑戦は？	
2015年度	後期	9	豊田郁子	2015.11.25	NPO法人「架け橋」事務局長	愛児を突然失った医療事故遺族から、病院の医療安全担当者へ。さらに、患者と医療者をつなぐNPOの理事長に。10月発足の医療版事故調の成立過程にかかわって知った官僚と政治家の素顔。	
2015年度	後期	8	大熊由紀子	2015.11.18	本大学院教授	思いがけない人も加わって社会を変える方法をディスカッション	
2015年度	後期	7	池田利恵	2015.11.11	全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会事務局長	「子宮頸がんワクチン」の被害の解明は、日本が世界の先頭を切っています。それは、児童文学作家の卵の「みかりんのささやき」というブログと3人の子を育てた主婦出身市議の出会い、発信力からでした。	
2015年度	後期	7	松藤美香	2015.11.11	全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会代表	「子宮頸がんワクチン」の被害の解明は、日本が世界の先頭を切っています。それは、児童文学作家の卵の「みかりんのささやき」というブログと3人の子を育てた主婦出身市議の出会い、発信力からでした。	
2015年度	後期	2	北野静雄	2015.10.7	大阪市立大・立命館大特別講師	「この薬は誰にも飲まされへん」と、出世の道を断ち、クビを覚悟で会社にストップをかけ薬害を未然に防いだ研究者にとって、倫理とは？	
2015年度	後期	5	樋口直美	2015.10.28	『私の脳で起こったこと』著者	「知性も人格も命も失っていくレビー小体認知症」と知らされた日々から復活。「いまが人生で一番幸せ」といえるのは、専門家も脱帽する著書が結んだ人との絆でした。	

2015年度	後期	4	阪井ひとみ	2015.10.21	阪井土地開発代表取締役	不動産会社社長が、精神病を体験した人たちの街での暮らしを応援して一肌脱いだわけ。肝っ玉オバサンと敬愛されて得たものは？	
2015年度	後期	3	倉田めば	2015.10.14	Freedom代表	ドラッグに溺れた若き日の心のうちは？ その体験を、いま、後輩のために生かすピアカウンセラーという仕事とは？	
2013年度	後期	1	今崎牧生	2014.9.25	心療内科医	アルピノのみなさん	
2014年度	後期	1	大熊由紀子	2014.9.24	本大学院教授	「ご本人に学ぶ」ということ	
2014年度	前期	12	遠矢純一郎	2014.7.3	医療法人社団プラタナス院長	スマホ・クラウドを駆使した在宅ケアのチームカ	
2014年度	前期	14	大熊由紀子	2014.7.17	国際医療福祉大学大学院教授	現場・専門家・行政・政治家をつないで成功したetc.参加の皆さんの実践をもとに	
2014年度	前期	13	大熊一夫	2014.7.10	180人のMattoの会代表/ジャーナリスト	精神病院収容をなくしたバサーリアの知力と説得力「むかしMattoの町があった」上映付き	
2014年度	前期	8	木原孝久	2014.6.5	住民流福祉総合研究所代表	「助けられ上手さん」と「ご近所パワー」の魔術	
2014年度	前期	11	五島朋幸	2014.6.26	パーソナリティ/新宿食支援研究会代表	最期まで口で食べられる喜びをかみしめる町づくり	
2014年度	前期	10	早瀬憲太郎	2014.6.19	映画監督	聞こえないからこそその超聴力ネットワーク	
2014年度	前期	10	山口千春	2014.6.19	学習塾早瀬道場塾長(手話通訳)	聞こえないからこそその超聴力ネットワーク	
2014年度	前期	9	有留武司	2014.6.12	東京都障害福祉部長⇒局長⇒モノレル社長	独裁的知事の下で先駆的に	
2014年度	前期	9	大久保真紀	2014.6.12	朝日新聞編集委員	インタビュー・連載・冤罪	
2014年度	前期	9	島本禎子	2014.6.12	あおば福祉会理事長	もうこれ以上、病院や施設に入れ続けないで	
2014年度	前期	9	増田英明	2014.6.12	ジャーナリズム分野院生	出会い繋がり・そして変わったこと	
2014年度	前期	4	中島和江	2014.5.8	大阪大学医学部附属病院教授	「いろはうた」でつなぐ患者と病院の医療安全の智恵	
2014年度	前期	7	加藤忠相	2014.5.29	おたがいさん代表	団塊ジュニア世代のポジティブ介護の挑戦～小規模多機能～	
2014年度	前期	7	菅原健介	2014.5.29	絆代表	団塊ジュニア世代のポジティブ介護の挑戦～小規模多機能～	
2014年度	前期	6	清水康之	2014.5.22	NPO法人自殺対策支援センター代表ライフリンク	誰も自殺に追い込まれることのない社会へ	
2014年度	前期	5	小島操	2014.5.15	都介護支援専門員研究協議会副理事長	福祉用具も駆使するケアマネの力量	
2014年度	前期	3	太田秀樹	2014.4.24	全国在宅療養支援診療所連絡会事務局長	元・絶滅危惧種が語る「出前医療」23年の実践から	
2014年度	前期	2	向谷地生良	2014.4.17	北海道医療大学教授	幻聴さんと「べてるな人々」出会いと商売繁盛	
2014年度	前期	1	大熊由紀子	2014.4.10	本大学院教授	「ご本人に学ぶ」ということ	
2013年度	後期	11	納賀良一	2014.12.4	島根がんケアサロン代表	がん体験者のサロンから広がった波	
2013年度	後期	14	大熊由紀子	2014.12.25	国際医療福祉大学大学院教授	聴講のみなさんの体験を中心に	
2013年度	後期	13	山崎史郎	2014.12.18	消費者庁次長	消費者被害、障害のある人、認知症の人から学んだこと	
2014年度	後期	13	小西熱子	2014.12.17	富士見産婦人科病院被害者同盟 代表	健康な子宮・卵巣を、営利のために摘出 病院ぐるみの犯罪の被害者となって	
2013年度	後期	12	川田龍平	2014.12.11	参議院議員	薬害被害、HIV体験、血友病体験、そして国会議員6年の体験で見えたもの	
2013年度	後期	7	澤登和夫	2014.11.6	ありがトン代表	自殺未遂体験をカウンセリングに生かす	
2013年度	後期	10	山田正人	2014.11.27	厚労省イクメンプロジェクト推進メンバー/前横浜市副市長	「経産省の山田課長補佐、ただいま、育休中」から7年、変わったこと変わらなかったこと	
2013年度	後期	9	石野富志三郎	2014.11.20	全日本聾唖連盟理事長	息子の看取り体験から健康問題まで～ろう者の視点にたった医療～	
2013年度	後期	8	大熊由紀子	2014.11.13	国際医療福祉大学大学院教授	聴くこと、そして発信すること その神髄は？	
2013年度	後期	3	竹下義樹	2014.10.9	日本盲人会連合会長	盲目の弁護士から見た社会で起きていること	
2013年度	後期	6	松中権	2014.10.30	グッドエイジングエールズ代表	ゲイ、レズビアンから見た医療と福祉の倫理	
2013年度	後期	5	原春久	2014.10.23	共立総合病院名誉院長	「うそをつかない医療」17年の実践から	
2014年度	後期	5	加藤英明	2014.10.22	DIで生まれた子どもの会	非配偶者間人工授精で生まれた子どもの「出自を知る権利」	
2013年度	後期	2	樋口範雄	2014.10.2	東京大学法学部教授	医療のために、法ができることを考えよう	
2013年度	後期	4	才門辰史	2014.10.16	セカンドチャンス！代表	少年院の経験、居場所と誇りをつくる日本と海外の実践	
2013年度	後期	4	津富宏	2014.10.16	静岡県立大学教授	少年院の経験、居場所と誇りをつくる日本と海外の実践	
2013年度	前期	12	村木厚子	2013.7.4	厚生労働省社会・援護局長	雇用・障害・共生・生活保護 ～思いがけない拘置所体験を行政に生かして～	
2013年度	前期	13	大熊由紀子	2013.7.11	国際医療福祉大学大学院教授	達人たちから学んで、こんどは皆さまの番です	

2013年度	前期	8	後藤芳一	2013.6.6	東京大学教授/日本福祉大学客員教授	ボランティアとして、官僚として、審議会委員として～体験して見えたもの～	
2013年度	前期	8	星川安之	2013.6.6	共用品推進機構専務理事	ボランティアとして、官僚として、審議会委員として～体験して見えたもの～	
2013年度	前期	11	宮本太郎	2013.6.27	中央大学教授	「福祉国家」という発信、そして、戦略	
2013年度	前期	10	本田麻由美	2013.6.20	読売新聞社会保障部記者	記者として、再発乳癌の患者として	
2013年度	前期	9	早瀬昇	2013.6.13	大阪ボランティア協会常務理事	ボランティア・NP0の新しい風～市民活動が開く新しい社会～	
2013年度	前期	4	樋口恵子	2013.5.9	高齢社会をよくする女性の会理事長	「言葉の魔術師」と呼ばれる秘伝を公開	
2013年度	前期	7	大熊由紀子	2013.5.30	国際医療福祉大学大学院教授	「志の縁結び係&小間使い」として経験したこと、考えたこと	
2013年度	前期	6	小宮山洋子	2013.5.23	元厚生労働大臣	アナウンサーとして、解説委員として、国会議員として、そして大臣として	
2013年度	前期	5	石川准	2013.5.16	静岡県立大学教授	「感情の社会学」の研究者として情報障害を埋める全盲のソフトウェア開発者として	
2013年度	前期	3	田邊順一	2013.4.25	写真家	レンズを通して見た光と影～老いと心の病の人たちとの出会いの中で～	
2013年度	前期	2	佐々木常夫	2013.4.18	東レ経営研究所特別顧問	発信力の源は個人も組織も成長するワーク・ライフ・バランス	
2013年度	前期	1	大熊由紀子	2013.4.11	国際医療福祉大学大学院教授	ことばは、魔術	
2011年度	後期	2	久松三二	2012.9.28	全日本ろうあ連盟事務局長	聞こえないひとにとって不都合な日本の医療と福祉	
2012年度	後期	2	玄秀盛	2012.9.26	一般社団法人日本駆け込み寺理事長	補導歴8回・逮捕歴6回・アコギな商売 出家・そして駆け込み寺	
2011年度	後期	1	大熊由紀子	2012.9.21	国際医療福祉大学大学院教授	現場の医療福祉倫理から見た日本の素晴らしいところ・ダメなところ	
2012年度	後期	1	大熊由紀子	2012.9.19	国際医療福祉大学大学院教授	発信力を磨くとは？政策を変えるとは？倫理を変えるとは？	
2011年度	前期	12	後藤恵子	2012.7.7	東京理科大学薬学部教授	語りデータを教育に生かす～薬学・看護学の立場から～	
2012年度	前期	12	香取照幸	2012.7.5	内閣府官房社会保障改革室 内閣審議官	社会保障政策転換の発信源として	
2011年度	前期	14	隈本邦彦	2012.7.21	江戸川大学教授	まとめ	
2011年度	前期	14	佐久間りか	2012.7.21	DIPEX-Japan事務局長	まとめ	
2011年度	前期	14	別府宏圀	2012.7.21	DIPEX-J理事長	まとめ	
2011年度	前期	13	鈴木智之	2012.7.14	法政大学社会学部教授	社会学者から見た健康と病いの語りデータベースの意義	
2012年度	前期	13	山崎章郎	2012.7.12	ケアタウン小平クリニック院長	「病院で死ぬということ」でホスピス革命、そして。。	
2011年度	前期	8	秋元秀俊	2012.6.9	秋編集事務所代表	語り手の立場から 「病いの語り」の意義と意味を考える	
2012年度	前期	8	白石正明	2012.6.7	医学書院看護出版部課長	本を企画して、パラダイムを変える。	
2011年度	前期	11	山崎章郎	2012.6.30	ケアタウン小平クリニック院長	ナラティブケアとスピリチュアルケア～『病院で死ぬということ』から20年たって	
2012年度	前期	11	大熊一夫	2012.6.28	ジャーナリスト(元大阪大学大学院教授)	潜入ルポという手法	
2011年度	前期	10	DIPEX-Japan リサーチチーム	2012.6.23		制作に挑戦 実践編(下)	
2012年度	前期	10	川村雄次	2012.6.21	NHK厚生文化事業団チーフプロデューサー	認知症の当事者からの発信をメディアにのせる	
2011年度	前期	7	射場典子	2012.6.2	DIPEX-Japanリサーチャー	方法論 ～サンプリングとインタビュー、データ分析、研究倫理～	
2011年度	前期	9	DIPEX-Japan リサーチチーム	2012.6.16		制作に挑戦 実践編(上)	
2012年度	前期	9	大江紀洋	2012.6.14	WEDGE編集長	雑誌とサイトで立体的に発信する	
2012年度	前期	9	大城慶吾	2012.6.14	WEDGE Infinity 編集長	雑誌とサイトで立体的に発信する	
2012年度	前期	7	大熊由紀子	2012.5.31	国際医療福祉大学大学院教授	言葉は魔術! ～新聞社で発信した体験をもとに	
2011年度	前期	6	佐久間りか	2012.5.26	DIPEX-Japan事務局長	「語りのデータベース」から見えてくる患者体験	
2012年度	前期	6	鳥集徹	2012.5.24	ジャーナリスト	フリーのジャーナリストだからできたこと	
2011年度	前期	5	稲葉上道	2012.5.19	学芸員	歴史的証言としてのハンセン病の語りとアーカイブ化	
2011年度	前期	5	平沢保治	2012.5.19	国立ハンセン病資料館の語り部	歴史的証言としてのハンセン病の語りとアーカイブ化	
2012年度	前期	5	長坂由佳	2012.5.17	アンカーコム 株式会社代表	インターネットという手法	
2011年度	前期	4	別府宏圀	2012.5.12	DIPEX-J理事長	対論・NBMとEBMの歴史をたどる～科学史家と臨床医の立場から～	

2011年度	前期	4	村上陽一郎	2012.5.12	東大名誉教授	対論・NBMとEBMの歴史をたどる～科学史家と臨床医の立場から～	
2012年度	前期	4	野澤和弘	2012.5.10	毎日新聞論説委員	文章力と話術で人を動かす	
2011年度	前期	3	金澤一郎	2012.4.28	日本学術会議会長	対論・EBMとインフォームド・コンセント～医学教育とジャーナリズムの視点から～	
2011年度	前期	3	隈本邦彦	2012.4.28	江戸川大学教授	対論・EBMとインフォームド・コンセント～医学教育とジャーナリズムの視点から～	
2012年度	前期	3	武藤真祐	2012.4.26	高齢先進国モデル構想会議 理事長	戦略コンサルティング集団での経験が活きる	
2011年度	前期	2	アルフォンス・デーケン	2012.4.21	上智大学名誉教授	「出会い」と「語り」	
2012年度	前期	2	大熊由紀子	2012.4.19	国際医療福祉大学大学院教授	ホームページとBCCメールで変える	
2011年度	前期	1	隈本邦彦	2012.4.14	江戸川大学教授	なぜ、いま、EBMとNBMの出会い？	
2011年度	前期	1	別府宏園	2012.4.14	DIPEX-J理事長	なぜ、いま、EBMとNBMの出会い？	
2012年度	前期	1	山崎史郎	2012.4.12	厚生労働省社会・援護局長	政治家・行政官・メディアを説得する	
2011年度	後期	11	富田伸	2012.12.7	聖隷佐倉市民病院脳外科部長	4つの癌の体験者として、患者家族として ピアサポーターとして	
2012年度	後期	12	小島直子	2012.12.5	バリアフリーコンサルタント	北欧と日本で暮らし、「口からウンチが出るように手術してください」という本を書いたわけ	
2011年度	後期	13	大熊由紀子	2012.12.21	国際医療福祉大学大学院教授	現場から変えたバイオニアに共通すること	
2011年度	後期	12	田中とも江	2012.12.14	拘束廃止研究所所長	認知症と尊厳～拘束とオムツからの解放～	
2012年度	後期	13	大熊由紀子	2012.12.12	国際医療福祉大学大学院教授	臨床試験の倫理～がんワクチンの真実	
2011年度	後期	8	稲葉一人	2012.11.9	中京大学法科大学院教授	法律家から見た医療事故 患者と医療者の「架け橋」に加わって	
2012年度	後期	8	新澤克憲	2012.11.7	就労継続支援事業所・「ハーモニー」	「幻聴妄想かるた」が生まれた場所	
2011年度	後期	10	新居昭紀	2012.11.30	聖隷三方原病院名誉院長	「患者権利宣言」の病院長から街中の訪問精神科医へ	
2012年度	後期	11	武内務	2012.11.28	前立腺がん支援ネットワーク主宰	病と語りのサイト・ディベックスで前立腺がんの経験を話して得たもの	
2012年度	後期	10	佐藤雅彦	2012.11.21	アルツハイマー病当事者	認知症を公表して、生きるということ	
2012年度	後期	10	永田久美子	2012.11.21	サポーター	認知症を公表して、生きるということ	
2012年度	後期	10	中村成信	2012.11.21	ピック病当事者	認知症を公表して、生きるということ	
2012年度	後期	10	前田隆行	2012.11.21	サポーター	認知症を公表して、生きるということ	
2011年度	後期	7	大熊由紀子	2012.11.2	国際医療福祉大学大学院教授	医療福祉のキーワード インフォームド・コンセント、ノーマライゼーション、ボランティアの底に流れるもの	
2011年度	後期	9	加部一彦	2012.11.16	愛育病院新生児科部長	障害のある子を生むということ そして、医療者の利益相反	
2012年度	後期	9	鈴木利廣	2012.11.14	明治大学法科大学院教授・弁護士	法律家から薬害・医療事故・訴訟をみると	
2011年度	後期	3	田島良昭	2012.10.5	社会福祉法人南高愛隣会理事長	障害が重くても、愛するひとと故郷のまちで～施設解体の挑戦～	
2012年度	後期	7	那須英彰	2012.10.31	NHK手話ニュース・キャスター	聴覚障害からの発信～講談・テレビ・映画を経験して～	
2012年度	後期	3	豊田郁子	2012.10.3	NPO法人「架け橋」理事長	医療事故を起した人と・被害者の架け橋となって～医療で悲しむ人をなくすために～	
2011年度	後期	6	坂上和子	2012.10.26	NPO法人病気の子ども支援ネット理事長	養護施設からの出発	
2011年度	後期	6	長坂由佳	2012.10.26	アンカーコム株式会社代表	養護施設からの出発	
2012年度	後期	6	福島智	2012.10.24	東京大学先端科学技術研究センター教授	盲ろう者として生きて、考えたこと 日本で、そして世界で	
2011年度	後期	5	大胡田誠	2012.10.19	弁護士	盲目の弁護士だから見えた福祉と人権	
2012年度	後期	5	浅野史郎	2012.10.17	慶応義塾大学教授	厚生省の福祉担当課長として、県知事として、そして、いま、白血病患者として	
2011年度	後期	4	鳥越俊太郎	2012.10.12	ジャーナリスト	4度の手術と死に向き合って～テレビメディア・活字メディアの中で～	
2012年度	後期	4	渥美由喜	2012.10.10	東レ経営研究所研究部長	「イクメンで行こう」～実践・研究、そして発信～	
2010年度	後期	2	清水陽一	2011.9.29	新葛飾病院院長	患者と医療者をつないだ「うそをつかない医療」	
2010年度	後期	1	大熊由紀子	2011.9.22	国際医療福祉大学大学院教授	日本の素晴らしいところ・ダメなところ	
2010年度	前期	4	大熊一夫	2011.7.2	ジャーナリスト	精神病院と療養病床を捨てた国々、捨てない日	全4回
2010年度	前期	2	岩瀬達哉	2011.5.7	ジャーナリスト	消えた年金その後そしていま	全4回
2010年度	前期	3	権丈善一	2011.5.21	慶應義塾大学教授	医療福祉の財源を国際比較しつつ提言する	全4回
2010年度	前期	1	惣万佳代子	2011.4.30	「このゆびとーまれ」代表	縦割り・横割りの行政に風穴をあけたおんなたち	全4回

2010年度	後期	11	勝村久司	2011.12.8	中央社会保険医療協議会委員	診療報酬の透明化で医療を変える	
2010年度	後期	13	大熊由紀子	2011.12.22	国際医療福祉大学大学院教授	現場から変えたバイオニアの背景を考える	
2010年度	後期	12	熊谷崇	2011.12.15	オーラルフィジシャン育成セミナー主宰/歯科医	目からウロコの歯の革命	
2010年度	後期	10	大熊由紀子	2011.12.1	国際医療福祉大学大学院教授	介護保険で改革したこと・改革できなかったこと	
2010年度	後期	9	田門浩	2011.11.24	都民総合法律事務所 弁護士	聞こえない弁護士が提言する医療福祉の人権改革	
2010年度	後期	9	山口千春	2011.11.24	千葉県聴覚障害者協会総括マネージャー	聞こえない弁護士が提言する医療福祉の人権改革	
2010年度	後期	8	打出喜義	2011.11.17	金沢大学医学部産婦人科 講師	産婦人科領域の倫理と非倫理、内部告発という名のボランティア	
2010年度	後期	7	石飛幸三	2011.11.10	芦花ホーム常勤医師	口から食べられなくなったらどうしますか？「平穏死」のすすめ	
2010年度	後期	3	佐久間りか	2011.10.6	健康と病いの語り ディベックス・ジャパン事務局長	患者にしか語れない言葉があるそれを、ウェブでサイトで伝える挑戦	
2010年度	後期	3	別府宏園	2011.10.6	健康と病いの語り ディベックス・ジャパン理事長	患者にしか語れない言葉があるそれを、ウェブでサイトで伝える挑戦	
2010年度	後期	6	大熊由紀子	2011.10.27	国際医療福祉大学大学院教授	ムンテラからインフォームド・コンセントへ、そして……	
2010年度	後期	5	花井十伍	2011.10.20	薬害HIV訴訟大阪原告団代表	薬害被害者が変えたこと変えられなかったこと！	
2010年度	後期	4	大里晃弘	2011.10.13	視覚障害をもつ医療従事者の会（ゆいまーる）/精神科医	聞こえない身で精神科医になって変えたこと	
2009年度	—	14	大熊由紀子	2011.1.20	本学大学院教授	医療福祉政策策定現場の倫理	
2009年度	—	13	向谷地生良	2011.1.13	北海道医療大学教授	「幻覚&妄想大会」と「当事者研究」の倫理	
2009年度	—	1	大熊由紀子	2010.9.30	本学大学院教授	医療福祉とジャーナリズムの倫理	
2009年度	—	11	熊谷晋一郎	2010.12.9	小児科医	車いす利用者から見えたりハピリテーションの論理と倫理	
2009年度	—	10	高梨憲司	2010.12.2	千葉県障害者計画・部会長	盲のソーシャルワーカーが入院して見えたもの	
2009年度	—	12	弘岡秀明	2010.12.16	スウェーデンデンタルセンター院長	歯科医療の倫理	
2009年度	—	6	会田薫子	2010.11.4	東京大学死生学研究室	自己決定が困難な人と胃瘻人工呼吸器停止をめぐる倫理	
2009年度	—	9	早瀬憲太郎	2010.11.25	「ゆずり葉」映画監督	聴覚障害のある人にとっての医療と福祉の倫理	
2009年度	—	8	大熊由紀子	2010.11.18	本学大学院教授	臓器移植・出生前診断の倫理	
2009年度	—	7	菅俣弘道	2010.11.11		わが子を医療事故でなくした父と東海大元院長の絆	
2009年度	—	7	谷野隆三郎	2010.11.11		わが子を医療事故でなくした父と東海大元院長の絆	
2009年度	—	2	佐伯晴子	2010.10.7	東京SP研究会代表	模擬患者が直面した医療現場の倫理	
2009年度	—	5	大熊由紀子	2010.10.28	本学大学院教授	ターミナルケアと認知症ケアの倫理	
2009年度	—	4	上野創	2010.10.21	朝日新聞記者	3度のがんを乗り越えた夫、発病を知って求婚した妻	
2009年度	—	4	高橋美佐子	2010.10.21	朝日新聞記者	3度のがんを乗り越えた夫、発病を知って求婚した妻	
2009年度	—	3	川田龍平	2010.10.14	参議院議員	薬害エイズ体験者として、国会議員として	
2008年度	—	1	大熊由紀子	2008.9.24	本学大学院教授	医療福祉倫理を学ぶということ 真のノーマライゼーション	
2008年度	—	11	早瀬久美	2008.12.3	昭和大学病院 薬剤部	医療アクセスの倫理 聴覚障害のある日本初の薬剤師の立場から	
2008年度	—	13	大熊由紀子	2008.12.17	本学大学院教授	ソーシャルアクション	
2008年度	—	12	宮崎和加子	2008.12.10	健和会・看護介護政策研究所所長	ひとり暮らしの認知症の人が癌になったとき 訪問ナースの草分けは、今	
2008年度	—	7	増山ゆかり	2008.11.5	財団法人いしずえ常務理事	薬害が問う医療倫理のありかた サリドマイドで両腕を失い、いま料理サポーターとして	
2008年度	—	10	打出喜義	2008.11.26	金沢大学医学部産婦人科講師	「内部告発」という名のボランティア	
2008年度	—	9	佐藤正純	2008.11.19	タートルの会	脳神経外科医と視覚障害者 両方の体験を通して	
2008年度	—	8	大熊由紀子	2008.11.12	本学大学院教授	遺伝子診断、臓器移植、そして、身体拘束の倫理	
2008年度	—	3	内野直樹	2008.10.8	社会保険相模野病院院長	医療事故と真実告白の倫理 病院長の挑戦から	
2008年度	—	6	大熊由紀子	2008.10.29	本学大学院教授	精神医療と福祉の倫理 世界の挑戦・日本の挑戦	
2008年度	—	5	山口和浩	2008.10.22	NPO法人自死遺族支援ネットワークRe代表	調査研究の倫理 自死遺児としての苦悩の日々、そして今	
2008年度	—	4	大熊由紀子	2008.10.15	本学大学院教授	高齢者の医療と福祉の倫理 「寝たきり老人のいない国」の秘密	
2008年度	—	2	尾上浩二	2008.10.1	DPI日本会議事務局長	ICとバリアフリー 障害児時代の恐怖の体験、そして、今	
2007年度	—	1	大熊由紀子	2007.9.26	本学大学院教授	インフォームド・コンセント、そして、ミスを告白するということ	
2007年度	—	11	坂本祐之輔	2007.12.5	東松山市長	福祉と教育 そして、自治体を動かす法	

2007年度	—	13	大熊由紀子	2007.12.19	本学大学院教授	ソーシャルアクションへ	
2007年度	—	12	大熊一夫	2007.12.12	ジャーナリスト	メディアと医療福祉倫理 敬遠・敵対から連帯へ	
2007年度	—	7	中澤幾子	2007.11.7	「アイデアフォー」世話人	臨床試験の倫理 医師の立場・がん患者の立場	
2007年度	—	7	別府宏圀	2007.11.7	正しい治療と薬の情報・編集長	臨床試験の倫理 医師の立場・がん患者の立場	
2007年度	—	10	石井拓磨	2007.11.28	当事者と臨床遺伝専門医（アルビノの若者と石井拓磨さん）	遺伝のイメージと倫理	
2007年度	—	9	植野圭哉	2007.11.21	千葉県聴覚障害者協会理事長	聞こえない身で病気になること	
2007年度	—	8	坂本宗久	2007.11.14	生活介護研究所代表	介護の技と医療福祉倫理	
2007年度	—	6	辻哲夫	2007.10.31	厚生労働省 前事務次官	社会保障行政における倫理と論理と方法 36年を振り返って	
2007年度	—	2	大熊由紀子	2007.10.3	本学大学院教授	アブノーマライゼーションとノーマライゼーション	
2007年度	—	5	笹川吉彦	2007.10.24	日本盲人会連合会長	見えないことへの想像力	
2007年度	—	4	清水康之	2007.10.17	NPO法人自殺対策支援センター・ライフリンク代表	当事者とともに社会を変える NHKディレクターではできなかったこと	
2007年度	—	3	豊田郁子	2007.10.10	医療事故被害を体験したセイフティマネジャー	医療事故から学ぶ、そして防ぐ	